

春の訪れ – 春もみじ – @筑波実験植物園 (TBG)

このPENだよりでは、Phenological Eyes Network (PEN) が取得したデータの中からピックアップして不定期にご紹介します。

今回は、国立科学博物館自然史標本棟屋上に設置した自動定点カメラ (カメラID: ctn_n) が捉えた筑波実験植物園内の冷温帯落葉広葉樹林の展葉や開花です。



2024年04月05日



4月5日、ブナ・イヌブナ・ハナノキなどが展葉・開花して赤・茶・黄などに色づく「春もみじ」を見せ始めました。木々の個性が際立ちます。遠景は筑波山です。

2024年04月11日



4月11日、「春もみじ」はパステルカラーのピークを迎えました。次第に緑の樹冠が増えていきます。右奥では反町の森公園のサクラの満開が見えます。

2024年04月16日



4月16日、「春もみじ」はピークをすぎ、展葉・開花したての樹冠から徐々に新緑の樹冠へと変化しています。

2024年04月21日



4月21日、「春もみじ」は終わり、ほとんどの木は新緑になりました。反町の森公園のサクラもおしまいです。